

みずほCustomer Desk Report 2020/10/01 号(As of 2020/09/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	105.81
TKY 9:00AM	105.67	1.1743	124.08	1.2867	0.7146		
SYD-NY High	105.80	1.1755	124.24	1.2945	0.7175		
SYD-NY Low	105.41	1.1685	123.55	1.2808	0.7101		
NY 5:00 PM	105.44	1.1721	123.65	1.2924	0.7164		
NY DOW	27,781.70	329.04	日本2年債	-0.140	1.00bp		
NASDAQ	11,167.51	82.26	日本10年債	0.010	0.00bp		
S&P	3,363.00	27.53	米国2年債	0.130	0.39bp		
日経平均	23,185.12	▲ 353.98	米国5年債	0.278	2.53bp		
TOPIX	1,625.49	▲ 32.61	米国10年債	0.685	3.45bp		
シカゴ日経先物	23,305.00	▲ 195.00	独10年債	-0.5215	2.20bp		
ロンドンFT	5,866.10	▲ 31.40	英10年債	0.2295	4.80bp		
DAX	12,760.73	▲ 65.09	豪10年債	0.8550	1.90bp		
ハンセン指数	23,459.05	183.52	USDJPY 1M Vol	5.71	▲0.16%		
上海総合	3,218.05	▲ 6.31	USDJPY 3M Vol	7.76	▲0.49%		
NY金	1,895.50	▲ 7.70	USDJPY 6M Vol	7.55	▲0.35%		
WTI	40.22	0.93	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over		
CRB指数	148.507	1.75	EURJPY 3M Vol	7.93	▲0.32%		
ドルインデックス	93.80	▲ 0.09	EURJPY 6M Vol	8.00	▲0.20%		

東京	東京時間のドル円は105.67レベルでオープン。前日の米経済指標が堅調な中仲値前はドル買いが強まり、105.80まで上昇。東京時間10時から始まったトランプ大統領、バイデン氏の討論会は建設的な議論が行われなかったため、失望感から米国先物が下落に転じ、ドル円も105.44まで下落し105.46レベルで海外へ渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は値を上げた。105.46レベルにてオープン。欧州勢の参入と同時にアジア時間の大統領討論会後リスク回避によるドル売りが一服。欧州株が軟調に推移する中、ECBラガード総裁の‘ECBの目標達成の為には必要な限り政策の拡張性を維持する必要がある’との発言に売られたユーロドルにつられ、ドル円は上昇した。105.73レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	トランプ大統領、バイデン氏の討論会は、トランプ大統領がバイデン氏の話を遮るところばかりが印象に残り、時間の無駄だったとの見方が強い中、ドル円は月末、期末の本邦輸入企業のドル買いに105.80まで上昇後、本邦輸出企業の売りや、日経平均が軟化する展開に円買いが強まり105.44まで反落するが、月末のドル買いが再び強まり105.73レベルでNYオープン。朝方は米9月ADP雇用統計が予想を上回り、前回分も上方修正され、早めに発表された9月シカゴPMIも予想を大きく上回り、前回から改善し、続いて発表の第2四半期GDP(前期比/3次速報)も予想程悪化しなかったものの、ドル円の反応は限定的となる。その後は米金利が上昇する動きにドル買いが持ち込まれ、105.74まで戻すが、ロンドンフィックスに掛けてドル売りが持ち込まれ、105.41まで反落する。その後はドル買いが再び優勢となり105.62まで戻すが、米バイオテクノロジーのワクチンは大統領選までに間に合わないと発表や、共和党のマコネル上院院内総務が景気対策交渉は隔たり大きいと言って差し支えないとの見解を示したものもあり、大幅に上昇していた株式市場が上げ幅を縮小させる展開に、ドル円は105.42まで反落し、105.44レベルでクローズした。一方、欧州株安や、月末、期末絡みのドル買いに、海外市場のユーロドルは1.1694まで下落し、1.1707レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、ユーロドルは上値の重い展開が続き、1.1685まで下落する。しかしロンドンフィックスに掛けてドル売りが持ち込まれ、1.1752まで急速に戻す。その後一旦ドル買いが再び強まり1.1706まで反落するが、午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1721レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・木村 TEL: 03-3242-7070 FAX: 03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月30日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	9月 51.5/55.9	51.3/54.7
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 749k	649k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q T -31.4%	-31.7%
	21:30	米 個人消費	2Q T -33.2%	-34.1%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	2Q T -0.8%	-1.0%

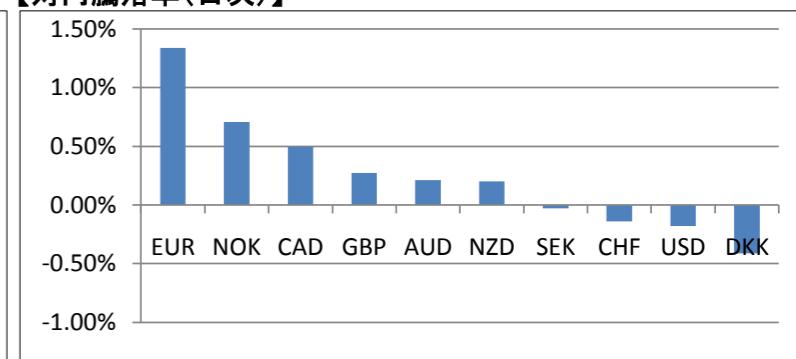
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月1日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	8月 0.1%/-2.7%	0.6%/-3.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	26-Sep 850k	870k
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	8月 -2.5%/0.8%	0.4%/1.9%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	8月 0.3%/1.4%	0.3%/1.3%
	22:45	米 マーケット製造業PMI・確報	9月 53.5	53.5
	23:00	米 建設支出(前月比)	8月 0.7%	0.1%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 56.4	56

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.70-106.70	1.1780-1.1900	125.30-126.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は105.60を挟んで上下する展開となった。東京時間朝方は105.80レベルまで上昇するも、期末の本邦輸出企業の円転フローと日経平均の下落を背景として売り戻されたほか、海外時間入り後に米経済指標の良好な結果や米金利上昇を睨みながら再びドル買いが入るも、共和党のマコネル上院院内総務の米追加景気刺激策への悲観的発言や米株が引けにかけ上昇幅を縮小する流れにドル/円は下げに転じた。本日のドル/円については、105円半ばでの方向感に乏しい展開を予想。明日に米9月雇用統計を控えている他、中国が本日から国慶節入りすることもあり動きは限定的になるものと考える。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村	ブル
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	7